

広面地区の伝統文化

太平山三吉神社 三吉梵天祭

1 歴史、概要

梵天祭は江戸時代頃に始まった秋田県固有の特殊神事で、梵天と呼ばれる依代（よりしろ）を神社に奉納する。毎年1月17日の午前10時30分から正午まで開催され、奉納される梵天数は約80本と県内随一。

三吉梵天祭は、《力の神》三吉霊神にあやかろうと威勢よく先陣を競い、境内を激しくもみあいながら奉納する勇壮さが大きな特徴であり、その力強さから「けんか梵天」とも呼ばれている。

（本文：「太平山三吉神社総本宮ホームページ」より転載）

（写真：令和6年1月17日 広面小3年生が三吉梵天祭りに参加）



2 継承のための取組み

- ◆五穀豊穡や家内安全、産業発展などを祈願して梵天を奉納する村（町内）梵天を始め現在では商売繁盛、安全祈願の法人、団体の梵天や、子どもの健やかな成長を祈る子ども会、スポ少の子ども梵天など、様々な団体、グループが一年の幸を願い梵天が奉納されている。
- ◆広面小学校では、毎年3年生が総合的な学習の時間に三吉梵天祭の歴史を学んでいる。また、外部指導者をお招きし、三吉節の講習会を行っている。三吉梵天祭の際は、三吉節を歌いながら梵天を奉納している。



（令和5年12月8日 三吉節講習会）



（令和6年1月17日 梵天奉納）

3 その他（小学生が関わっている地域行事等）

- 東地区運動会（9月中旬）
 - ・町内ごとに小中学生も競技に参加する。
- 東地区敬老会（9月中旬）（主にコロナ禍以前に関わっていた行事）
 - ・地区の敬老会に音楽部が出演し、演奏を披露している。